

令和5年7月21日

保護者のみなさまへ

愛知教育大学附属高等学校長 西牟田 哲哉

「ラーケーションの日」への対応について

保護者のみなさまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、報道等でもご案内のとおり、愛知県は「休み方改革」の推進のため、「ラーケーションの日」の導入を進めているところです。

「ラーケーション」とは「ラーニング (learning) 【学び】」と「バケーション (vacation) 【休暇】」を組み合わせた造語で、愛知県内の公立学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）に通う子供が、保護者等とともに、校外（家庭や地域）で体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日で、年に3日まで（令和5年度は2日まで）取得でき、欠席扱いにはなりません（愛知県教育委員会資料より）。

これを受け、全県立学校と19市町村の小中学校がモデル事業として9月から取得できる態勢を整えるとされています。

なお、報道によれば、名古屋市教育委員会は現時点では「ラーケーションの日」を導入しない方針です。

さて、愛知教育大学附属学校園は国立大学の附属学校園のため、学習活動のための休業日の設定は、大学の判断に委ねられています。

このことについて、大学の附属学校運営委員会において、附属学校の対応について次の見解が示されました。

【ラーケーションについて大学の見解（R5.6.23 附属学校運営委員会）】

- ・愛知教育大学は附属学校が名古屋市と岡崎市、刈谷市にあります。
- ・名古屋市とそれ以外の市町村で実施の有無が異なることから、全附属学校での統一した対応は難しく、現状では導入は各校で検討いただくこととなります。
- ・導入にあたっては、PTAとの調整や校内の規定整備など準備が必要であり、県内のモデル実施校で行われるアンケートの検証結果も注視しつつ、今年度は様子を見ることとしてもよいのではないかと考えます。

については、本校における「ラーケーションの日」は、令和5年度は実施を見送ることとしましたのでお知らせします。

公立学校にお子さんのいるご家庭にあつては、同様の扱いにならないことも想定されますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、令和6年度以降については、実施する場合には改めてお知らせいたします。

担 当 教頭

電 話 0566-36-1881